

17 局地的な集中豪雨等に備えた河川及び雨水幹線整備の推進

(国土交通省)

近年、局地的な集中豪雨による都市型水害が多発していることから、治水安全度の向上のための河川改修や雨水幹線等の浸水対策施設の整備と、その良好な維持管理が必要不可欠となっています。

京都市では、浸水対策の大きな柱として河川改修と雨水幹線整備に取り組んでいます。河川事業においては、平成24年3月に、「京都市河川整備方針」を策定し、市民生活の安心・安全の根幹となる治水を前提とした京都らしい川づくり、水辺づくりを進めるとともに、治水対策で重要な役割を果たしている排水機場については、老朽化が進んでいることから、長寿命化計画の策定に着手するなど、計画的かつ効果的な維持管理に取り組んでいます。また、下水道事業においては、過去に浸水が発生した箇所や、集中豪雨時に大きな被害が予想される京都駅など地下街周辺地区を中心に、10年確率降雨対応の雨水幹線の整備を進めており、雨水貯留・浸透施設の普及などと合わせ、総合的に浸水対策を実施しています。

しかしながら、河川の改修や雨水幹線の整備等には多額の事業費が必要となります。現在国庫補助金の対象である都市基盤河川の改修だけでも、今後約800億円もの事業費が必要となります。普通河川、雨水幹線等の整備や維持修繕に要する費用も加えると、更に膨大な事業費が継続的に必要となることから、予算確保が喫緊の課題となっています。

つきましては、市民の生命・財産・暮らしを守るための浸水対策として必要な事業を早急に実現させるため、次のとおり求めます。

提案・要望事項

- 1 普通河川の改修を対象とした国庫補助制度の創設や準用河川改修事業の補助要件の緩和など河川改修への財政支援の拡充
- 2 河川・水路及び排水機場の維持修繕に必要な国庫補助制度の創設
- 3 下水道の雨水幹線等の浸水対策施設整備に対する国庫補助金の増額

所管の省庁課：国土交通省（水管理・国土保全局河川計画課，下水道部下水道事業課）

京都市の担当課：建設局 土木管理部調整管理課 防災・設備管理担当課長 田中伸弥 TEL 075-222-3568
建設局 水と緑環境部河川整備課長 藤原倫也 TEL 075-222-3591
上下水道局 下水道部計画課長 石田秀一 TEL 075-672-7841

現状・課題

◎局地的集中豪雨による浸水対策のため、河川改修、雨水幹線等の整備が必要

増水時の普通河川



整備中の雨水幹線



- 普通河川の改修事業には多額の費用が必要 ⇒しかし、**国庫補助の対象外**
- 準用河川の改修事業については補助要件が限定的

・4億円未満の事業は対象外
・雨水貯留施設の設置は対象外
- 近年の局地的集中豪雨を踏まえると今後は、**河川改修や雨水幹線等の浸水対策施設の整備のスピードアップを図ることが喫緊の課題**

- ・都市基盤河川の改修だけでも、今後800億円もの事業費が必要！
- ・その他河川等も含めると更に膨大な事業費が必要！

◎市民のくらしを守るため、適切な維持管理のもと、浸水被害を未然に防ぐ

老朽化が進む排水機場



傷んだ護岸の補修 (京都市西京区の天井川)



経年によるクラックが発生している

- 近年多発する局地的集中豪雨に備え、京都市が管理する340河川全てを対象とした対策（老朽化した護岸の部分的な補修や浚渫など）を行うため、**継続的な予算を確保することが喫緊の課題**
- 京都市が管理する34箇所の排水機場では、老朽化が進んでいることから、排水機場の耐震化と維持修繕に対する多額の予算を確保することが必要
- **国の補助制度は1級・2級河川に係る排水機場のみが対象**であり、本市が管理する多くの排水機場の維持修繕に係る経費は国の補助対象外

提案・要望事項

多発する局地的集中豪雨等による自然災害を踏まえ、浸水対策を実施し、市民の生命・財産・暮らしを守るため、早急な河川改修、浸水対策施設の整備及び良好な維持管理に必要な財源の拡充が必要！

- 1 普通河川の改修を対象とした国庫補助制度の創設や準用河川改修事業の補助要件の緩和など河川改修への財政支援の拡充
- 2 河川・水路及び排水機場の維持修繕に必要な国庫補助制度の創設
- 3 下水道の雨水幹線等の浸水対策施設整備に対する国庫補助金の増額